

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

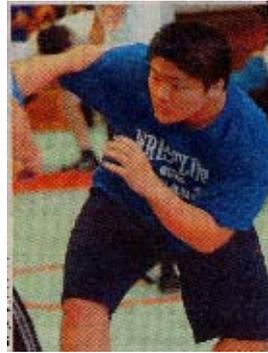
備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 21 号

平成 18 年 5 月 12 日

発行元
岡山県立
高松農業高校
tel
086-287-3711
fax
086-287-3713



4月のレスリング競技 JOC
ジュニアオリンピックで
全国優勝した時信光一君
(写真・山陽新聞社提供)

【朝礼台】

木々の緑がまぶしい好季節となりまし
た。校門から玄関に続く植物園も、若葉
の緑でいっぱいです。特に、玄関前の二
本の楠は本校のシンボルとして立派にそ
びえています。この楠は明治三十八年に記
念植樹されたと言われており、校歌の中
にも「庭の楠の葉いや生ひて・・・」と
歌われています。堂々たる幹や枝振りに
加え、豊かな緑が目にあらぎを与え、夏
は涼しい木陰となつて私たちに憩いの場
を与えてくれます。

楠は成長こそ遅いが着実に大木になる
ところから、進歩は遅くても、堅実に成
長してやがて大成する学問のことを「楠
学問」と言います。それに対し、成長は
早くても大木にならない梅の木にちなん
で、にわか仕込みで不確実な学問のこと
を「梅木学問」と言います。

毎日、規則的に計画に従つて努力を続
けることが、確かな学力の向上をもたら
します。楠を植えた先人は、ここで学が
若者達に、進歩は遅くとも着実に学問を
修め、立派な人間になつて欲しいという
願いを込めたのだらうと想像しながら楠
を眺めています。ちなみに、植物園には
梅の木はありません。
(校長より)

【木漏れ日】 4/16「岡山そうじに学ぶ
会」が本校で行われ本校生徒も多数参加しま
した。主催者の小西敏之さんから本校に次の
ようなお便りを頂きました。

「豊田佳香様 H18・4・19・水
4/16 楽しい有意義な時間を提供して
下さり、本当にありがとうございました。
先生と生徒さん達の協力の深い絆のよ
うなものを感じました。

素晴らしい校風に感動いたしました。
今回は新入社員研修として参加された
方もいましたが、無理やり連れてこられ
た方は、少し引いていました。高校生の
方が姿勢が良かったです。ありがとうございました。
注・豊田佳香(本校生徒会顧問)

【歓声】 5月8日(月)

岡山県青少年教育センター閉谷学校で
一年生が集団一日研修をしてきました。



写真は講堂学習の光景

【放課後】

今回は紙面の都合で日時・場所
所属学科・学年を省略している場合があります。

【軟式野球部】 春季大会

二回戦 高農 7-0 関西
準決勝 高農 7-0 玉野
決勝 高農 3-4(延長11回) 高大附属
備前地区準優勝 県大会へ出場

【レスリング部】 JOCジュニアオリンピック

カップ全日本選手権・横浜市体育館・4/24
カデット(17歳・15歳) 20kg級 優勝
時信君・岡山県の高校生を優勝は初めて。
アジア地区予選へ出場権を得る。
また、中国地区大会(山口県)に団体と個人
で出場。昨年に続き団体2連覇を目指す。

【卓球部】

笠岡市卓球選手権大会・本校より男子シン
グルスに11名出場
一回戦敗退 1名、二回戦敗退 7名
三回戦敗退 荒木、三村、熊城先生

全国・中国高校県予選会(桃太郎アリーナ)
荒木・男子シングルス5回戦で玉野光南の選
手に敗れるも、県で初のベスト64

【バスケット部】 中国高校大会・備前地区予選

(女子) 一回戦 朝日 39 41 高農
二回戦 明誠 69 26 高農

【バレー部】 春季大会 備前支部予選会

(女子) 一回戦 高農 0-15 25
二回戦 高農 0-25 25 西大寺

【サッカー部】 高校総体備前地区予選

一回戦 高農 3-12 0 0 明誠
二回戦 高農 1-10 2 6 理大附属

【ソフトテニス部】

春季大会

一回戦 男子・女子 全てのチーム勝利
二回戦 河合・萩原三宅・宮原組勝利
三回戦 三宅・宮原組 勝利
四回戦 三宅・宮原組 敗退 ベスト32

【柔道部】 中国大会 岡山県予選

(男子) 優勝 小林・石井組・県大会へ
ベスト6 萩原・河合組・県大会へ
ベスト8 尾崎・国橋組
(女子) ベスト8 宮原・三宅組・県大会へ
ベスト16 中島・西組

【ラグビー部】 高校総体備前地区大会

一回戦 高農 10 朝日
敗者戦 高農 7 29 関西 B

【柔道部】 中国大会 岡山県予選

(団体) 高農 0 3 光南
高農 0 4 白陵 敗退
(個人) 男子5名・女子1名一回戦敗退

【農場】 国際園芸展受賞式・5月3〜7日

フラワーアート部門
オーブンクラス 『ランランパーク』
特別奨励賞 岡山県商工会連合会賞
フラワーアレンジメント
フラワー科学科3年村上晴香・延吉美佳さん
写真は来月号で御紹介します。

畜産科学科より
高農産豚肉の名前決定!!(注:校内で募集)
『幻の黒ぶち豚』次点・吉備の風ポーク
畜産科学科3年杉井久美子さん
皆さんよろしくお願いたします。

【お知らせ】 旧国公立大学を目指す生徒諸君に!!

『勉強クラブ』設立 月々金の毎放課後!!
大学進学に向けて普通教科を徹底的に!!
部活動に入っていない方もかまいません。
進学勉強に悩んでいる諸君!!
やる気のある諸君!!
14名の先生が丁寧に指導いたします。

【ホームルーム】

高等学校の評価として、
東大や国公立大学等への進学者の数を尋ねる人が
いる。本校は建学の精神からしてそれらの数を競つ
たことは一度だつてないが、創立当時は意外にも東
大と縁があった。例えば第2代校長木戸辰三郎(明
治二十七年東京帝国大学農科大学農学専攻)と、
続く第3代校長青山三治郎(明治二十九年東京帝国
大学農科大学農芸化学科卒業、鈴木梅太郎博士は同
期)は共に東京帝国大学の出身である。また、卒業
後すぐに、技師として当時の東大農学部就職した
ものも少なくない。

【注】その頃、本校卒業生は県庁や試験場の技師
また獣医師として就職していく者がほとんどで、
大学に進学したものは記録に残っているものでは
ない、有元郷次郎(明治33年本校農科卒業・同志社
大学)と、清水長郷(明治29年本校農科卒業・早
稲田大学政経科)の二人と稀である。ただし、両
名とも卒業後は、県会議員(有元)になったり、
読売・朝日の記者(清水)を務めた記録がある。

最近では平成8年度から少数ではあるが毎年岡
山大学や島根大学に進学している。さて、5月8日
本校に「勉強クラブ」がスタートした。これは、真に
旧国公立大学への進学を目指す生徒のために、これ
までの既成概念にとらわれず、部活動でも補習でも
ない第三の進学支援体制と考えている。何より、何
度も何度も会議を重ね、全教職員で考えて誕生した
制度だ。第一期生22名。勉強と同時に大学で何を
学ぶか、後輩に続く伝統を築いて欲しい。